

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-306455

(43)Date of publication of application : 02.11.2001

(51)Int.Cl. G06F 13/00
H04L 12/54
H04L 12/58

(21)Application number : 2000-119810

(71)Applicant : CYBIRD CO LTD

(22)Date of filing : 20.04.2000

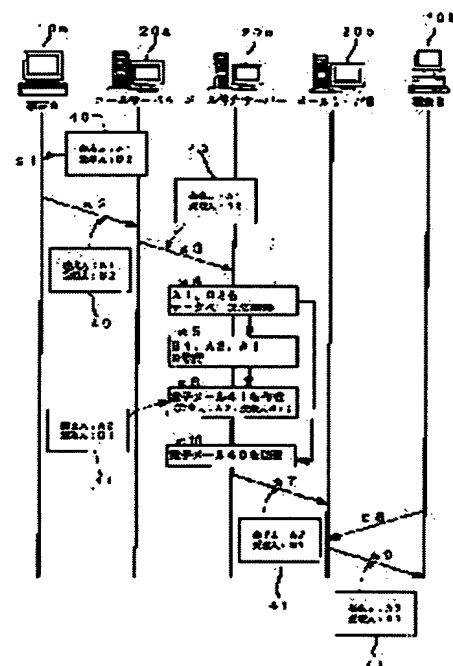
(72)Inventor : SANADA TETSUYA
TAKASE YASUMICHI

(54) ELECTRONIC MAIL MEDIATING SERVER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To anonymously exchange electronic mails by properly selected two persons for a fixed time.

SOLUTION: In the electronic mail mediation serve, validity terms data are made to be incidental to an anonymous correspondence pair which consists of a temporary mail address A2 made to correspond to the mail address A1 of a user A and of a temporary mail address B2 made to correspond to the mail address B1 of a user B, an electronic mail is transmitted to the Internet as the electronic mail from the temporary address B2 to the address A1 when the sender of the electronic mail transmitted to the mail box of the temporary address A2 coincides with the address B1, the electronic mail is transmitted to the Internet as the electronic mail from the address A2 to the address B1 when the sender of the electronic mail transmitted to the mail box of the temporary address B2 coincides with the address A1 and the anonymous correspondence pair and the mailboxes are erased base on validity terms data.



BEST AVAILABLE COPY

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001－306455
(P2001－306455A)

(43)公開日 平成13年11月 2 日 (2001. 11. 2)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 13/00	6 0 1	G 0 6 F 13/00	6 0 1 A 5 K 0 3 0
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B
12/58			

審査請求 未請求 請求項の数6 ○ L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願2000－119810(P2000－119810)

(22)出願日 平成12年 4 月20日 (2000. 4. 20)

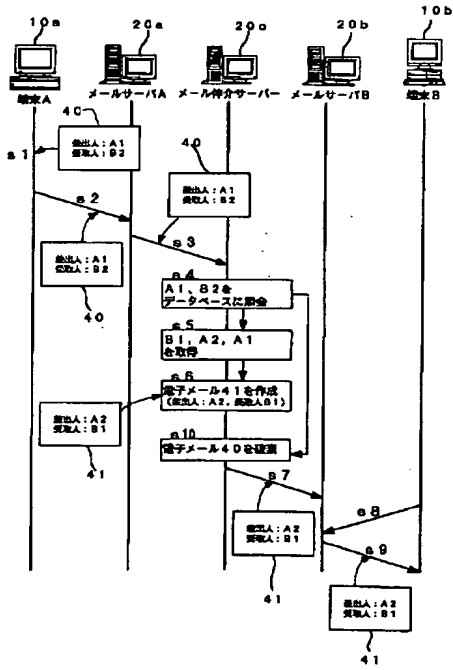
(71)出願人 500183881
株式会社サイバード
東京都港区虎ノ門四丁目 3 番20号
(72)発明者 真田 哲弥
東京都港区西麻布 4 丁目16番13号 株式会
社サイバード内
(72)発明者 高瀬 康道
東京都港区西麻布 4 丁目16番13号 株式会
社サイバード内
(74)代理人 100071283
弁理士 一色 健輔 (外 3 名)
Fターム(参考) 5K030 GA16 HA06 HC01 HD09 JT06
KA04 LB02 LD14 LD18

(54)【発明の名称】 電子メール仲介サーバー

(57)【要約】

【課題】 適宜に選出された2 者が一定期間匿名で電子メールを交換する。

【解決手段】 利用者AのメールアドレスA 1に対応付けされている仮メールアドレスA 2と、利用者BのメールアドレスB 1に対応付けされている仮メールアドレスB 2とを一組とした匿名文通ペアに有効期限データを付帯させ、仮アドレスA 2のメールボックスに送達した電子メールの差出人がアドレスB 1に一致すると、当該電子メールを、仮アドレスB 2からアドレスA 1に宛てた電子メールとしてインターネットに送出し、仮アドレスB 2のメールボックスに送達した電子メールの差出人がアドレスA 1に一致すると、当該電子メールを、アドレスA 2からアドレスB 1に宛てた電子メールとしてインターネットに送出するとともに、前記有効期限データに基づいて前記匿名文通ペアと該当のメールボックスとを消去する電子メール仲介サーバーとした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 以下の事項(1)～(5)によって特定される発明。

(1) 電子メールネットワークに接続されたコンピュータシステムであって、適宜に選出された2者間で相互に匿名の状態での電子メールの交換を仲介する電子メール仲介サーバーとして機能する。

(2) 各利用者のメールアドレスと仮メールアドレスとを対応づけて記憶するとともに、前記仮メールアドレスごとに適宜な記憶資源をメールボックスとして割り当てる。

(3) ある利用者の仮メールアドレスに他の利用者の仮メールアドレスとを対応付けてこの組み合わせを匿名文通ペアとして管理し、各匿名文通ペアごとにその組み合わせを解消する時機を特定するための有効期限データを付記する。

(4) 前記有効期限データに基づいて、解消時機が到来した前記匿名文通ペアについては、それら仮メールアドレスおよび該当のメールボックスの割り当てを無効化する。

(5) 利用者AのメールアドレスA1に対応付けされている仮メールアドレスA2と利用者BのメールアドレスB1に対応付けされている仮メールアドレスB2とが匿名文通ペアとして管理されているとする。仮アドレスA2に割り当てられたメールボックスに差出人メールアドレスがB1である電子メールが送達された場合、その電子メールの差出人メールアドレスをB2に置換するとともに、宛先メールアドレスをA1に置換して前記ネットワークに送出する。

【請求項2】 請求項1において、ある前記仮メールアドレスに前記匿名文通ペアとして対応付けされている仮メールアドレスは一つであることを特徴とする電子メール仲介サーバー。

【請求項3】 請求項1または2において、各利用者のメールアドレスに対応付けできる前記仮メールアドレスの数に制限が設定されており、各利用者に当該制限数を超えて前記仮メールアドレスを対応付けしないことを特徴とすることを特徴とする電子メール仲介サーバー。

【請求項4】 請求項3において、前記利用者が操作する利用者コンピュータから前記ネットワークを介して受け付けたユーザ入力情報に従って、当該利用者に対応付けされる前記仮メールアドレスの数を可変設定することを特徴とする電子メール仲介サーバー。

【請求項5】 請求項1～4のいずれかにおいて、前記利用者が操作する利用者コンピュータから前記ネットワークを介して受け付けたユーザ入力情報に従って、当該利用者に対応付けされる前記匿名文通ペアの前記有効期限データを事前に設定できることを特徴とする電子メール仲介サーバー。

【請求項6】 請求項1～5のいずれかにおいて、前記

利用者が操作する利用者コンピュータから前記ネットワークを介して受け付けたユーザ入力情報に従って、当該利用者の特定の匿名文通ペアに設定されている前記有効期限データを変更できることを特徴とする電子メール仲介サーバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はインターネットなどの電子メールネットワークに接続されたコンピュータシステムに関し、とくに、適宜に選出された2者間で相互に匿名の状態での電子メールの交換を仲介する電子メール仲介サーバーとして機能するコンピュータシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットなどの通信ネットワークを介して互いに知らない人同士が匿名状態で情報交換するための情報仲介サービスが種々提供されている。例えば、電子掲示板やチャットなどのサービスがそれに当たる。以下、通信ネットワークとしてインターネットを例に挙げて、これらのサービスについて説明する。

【0003】電子掲示板は、インターネットを介してメッセージの掲載希望者から投稿されたメッセージを定型の画面データ(インターネットではHTML形式)に作成し、その画面データをWWWサーバーによってインターネット上に公開したものである。一般に記事の投稿者はニックネームなどを使用し匿名状態となっている。そして、投稿された記事に対して他の人が同じ掲示板に意見などを投稿すれば、見知らぬ人同士が匿名状態で情報交換できる。

【0004】チャットは、IRC(Internet Relay Chat)サーバーにアクセスしている複数の利用者コンピュータ間でテキストによる情報交換をリアルタイムで行うものである。このチャットを交わしている人たちも自身で名乗ったニックネームなどによって匿名状態になっている。

【0005】なお、電子掲示板などには電子メールなどによる情報交換を希望する旨の記事とその投稿者自身のメールアドレスとを掲載したものもある。ここでメールアドレス以外の個人情報を掲載せず、その電子掲示板の記事を見た人が自身の電子メールアドレス以外の個人情報を出さずに電子メールの記事の投稿者宛に出せば、匿名状態で情報交換できる。したがって、互いに相手の電子メールアドレスのみしか知らないで電子メールをやりとりする場合も、匿名状態での情報交換と言える。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明者らは、上述した匿名状態での情報交換サービスに内在する課題や、その課題を解決するためのサービス形態について考察した。まず、上述の情報交換サービスが提供されている背景として、人は自身がおかれている地理的環境や生活環

境（職業、年齢など）によって、その人の交友関係はある程度限られてしまっていたり、趣味や嗜好の多様化によって、周囲に自分と同じ趣味や嗜好を持つ人がいなかったりして、他の地域の未知の人とのコミュニケーションや自身の趣味や嗜好に関して存分に情報交換を希望したいと思っている人が意外と多いのではないかと推論した。

【0007】そして、インターネットが日常的に利用される環境が整備されるに至り、個々の地理的環境や生活環境を超越して未知の人とのコミュニケーションが容易となり、上述の情報交換サービスが広く利用される結果に繋がったのではないかと考えたのである。

【0008】ここで、従来の情報交換サービスを顧みると、上述の推論に見られる人々同士は、必ずしも理想的な手順や形態で情報交換が行われていないことにも想達した。すなわち、未知の人同士がコミュニケーションを行う場合、そのコミュニケーションの開始時点では、

「2者間が匿名状態で情報交換をする」という条件が必要であり、その匿名状態での情報交換を通じてお互いに好意や深い関心を示せば、匿名状態を解消して友好関係を深化させることが理想的であると考えたのである。

【0009】しかし、電子掲示板サービスでは、投稿者自身の個人情報とは公開されないとしても、投稿記事は第3者に公開されてしまうことになり「2者間が匿名状態で」という条件を満足することができない。

【0010】また、チャットでは、チャットサービスを提供するサーバーに接続していない限りは2者間で情報交換をすることができず、ある程度継続的に情報交換を行って友好関係を深化させるためにはあまりにも一時的な情報交換であるといえる。

【0011】電子メールでは、さらに深刻な問題がある。電子メールは、確かに2者間で匿名状態で情報交換ができる。しかし、2者の一方が情報交換の解消を希望しても、他方にその意志がなければ、希望しない相手からの電子メールが継続的に送付されることになる。望まない相手からの電子メールは、情報交換の解消を希望する側から見れば「執拗な行為」と同然となる。情報交換を強制的に解消しようとするれば、電子メールアドレスの変更を余儀なくされる。もちろん、それに伴う煩雑な手続きも要する。

【0012】そこで本発明は、特定の2者間が匿名状態で電子メールを交換する場合に、その2者間にのみ有効な電子メールの流通経路を期限付きで設定できる電子メール仲介サーバーを提供することを目的としている。

【0013】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するための第1の発明は、以下の事項（1）～（5）によって特定される。

（1）電子メールネットワークに接続されたコンピュータシステムであって、適宜に選出された2者間で相互に

匿名の状態での電子メールの交換を仲介する電子メール仲介サーバーとして機能する。

（2）各利用者のメールアドレスと仮メールアドレスとを対応づけて記憶するとともに、前記仮メールアドレスごとに適宜な記憶資源をメールボックスとして割り当てる。

（3）ある利用者の仮メールアドレスに他の利用者の仮メールアドレスとを対応付けしてこの組み合わせを匿名文通ペアとして管理し、各匿名文通ペアごとにその組み合わせを解消する時機を特定するための有効期限データを付記する。

（4）前記有効期限データに基づいて、解消時機が到来した前記匿名文通ペアについては、それら仮メールアドレスおよび該当のメールボックスの割り当てを無効化する。

（5）利用者AのメールアドレスA1に対応付けされている仮メールアドレスA2と利用者BのメールアドレスB1に対応付けされている仮メールアドレスB2とが匿名文通ペアとして管理されているとする。仮アドレスA2に割り当てられたメールボックスに差出人メールアドレスがB1である電子メールが送達された場合、その電子メールの差出人メールアドレスをB2に置換するとともに、宛先メールアドレスをA1に置換して前記ネットワークに送出する。

【0014】また第1の発明において、ある前記仮メールアドレスに前記匿名文通ペアとして対応付けされている仮メールアドレスは一つであることとした電子メール仲介サーバーを第2の発明としている。

【0015】第3の発明は、第1または第2の発明において、各利用者のメールアドレスに対応付けできる前記仮メールアドレスの数に制限が設定されており、各利用者に当該制限数を超えて前記仮メールアドレスを対応付けしないこととした電子メール仲介サーバーとしている。さらに、この第3の発明において、前記利用者が操作する利用者コンピュータから前記ネットワークを介して受け付けたユーザ入力情報に従って、当該利用者に対応付けされる前記仮メールアドレスの数を可変設定する電子メール仲介サーバーを第4の発明とした。

【0016】第5の発明における電子メール仲介サーバーは、第1～第4の発明のいずれかにおいて、前記利用者が操作する利用者コンピュータから前記ネットワークを介して受け付けたユーザ入力情報に従って、当該利用者に対応付けされる前記匿名文通ペアの前記有効期限データを事前に設定できることとしている。

【0017】また、第1～第5の発明のいずれかにおいて、前記利用者が操作する利用者コンピュータから前記ネットワークを介して受け付けたユーザ入力情報に従って、当該利用者の特定の匿名文通ペアに設定されている前記有効期限データを変更できる電子メール仲介サーバーを第6の発明とした。

【0018】

【発明の実施の形態】 === ネットワーク構成 ===
本発明の実施例における電子メール仲介サーバーを含む電子メールネットワークとしてインターネットを例に挙げ、図1にそのインターネットの概略構成図を示した。インターネットには不特定多数の利用者コンピュータと、WWWサーバーやメールサーバーなど利用者コンピュータに種々のサービスを提供するホストコンピュータ20とが接続されている。

【0019】この実施例の電子メール仲介サーバー（以下、仲介サーバー）20cもホストコンピュータの一つであり、各種データベースを付帯し、利用者コンピュータ10とのデータ通信を通じてそのデータベースの内容を随時更新していくとともに、適宜に選出された2者間で相互に匿名の状態での電子メールの交換を仲介する匿名電子メール仲介サービス（以下、メール仲介サービス）を提供する。

【0020】 === 通常の電子メール送受信動作 ===
図1において、ある利用者コンピュータ（端末A：10a）から他のある利用者コンピュータ（端末B：10b）に宛てて電子メールを送付することを想定する。また、前提として、端末A10aが受取人指定の電子メールをインターネットに送出する際にその差出人のメールアドレス（差出人アドレス）として使用するメールアドレスをアドレスA1とする。また、アドレスA1に相当するメールボックスA1が所定のメールサーバーA20aにあるものとし、同様に端末B10bにはアドレスB1が割り当てられており、このアドレスB1に相当するメールボックスB1が所定のメールサーバーB20bにあるものとし、以下、通常の電子メールの流れについて説明する。

【0021】端末A10aがアドレスB1に宛てて電子メールをインターネットに送出すると、SMTPの手順に従ってこの電子メールはメールサーバーB20bにあるメールボックスB1に送達する。端末B10bが周知のPOPの手順に従ってメールサーバーB10bにアクセスしてメールボックスB1にある自身の電子メールの送付を要求すると、端末B10bにこの電子メールが送達される。

【0022】本発明のメール仲介サーバー20cは、上述した通常の電子メールの流通経路に介在して、端末A10aと端末B10bとが匿名状態で、すなわち互いにアドレスA1やアドレスB1を伏せた状態で、電子メールをやりとりするためのサービスを提供するものである。

【0023】以下、メール仲介サーバー20cにおけるデータベース構成やデータ処理の流れについて、端末A10aと端末B10bとが匿名状態で電子メールを交換する場合を例に挙げて説明することとする。なお、端末A10aを使用してメール仲介サービスを享受する人を

会員Aとし、端末B10bを使用してメール仲介サービスを楽しむ人を会員Bと称することにする。

【0024】 === 電子メール仲介サーバー ===
図2（A）（B）は、データベースに格納されているデータ内容を概略図として示している。（A）と（B）はそれぞれ会員データと仮アドレス対の概略構成をそれぞれ示している。

【0025】<（A）会員データ>このメール仲介サービスの享受者として登録された全会員について、IDとメールアドレスを含む個人データと仮メールアドレスとを対応づけたデータである。なお、この例では、個人データとして年齢や性別、居住地域などが含まれている。また、仮メールアドレスは、仲介サーバーが会員にメール仲介サービスを提供する際に、その都度発行するメールアドレスであり、現在メール仲介サービスを利用していない会員については、仮メールアドレスは対応付けされていない。

【0026】この図では会員AのIDにメールアドレスA1と仮メールアドレスA2、A3、A4が対応付けされ、会員BにはメールアドレスB1と仮メールアドレスB2とB3が対応付けされている。

【0027】さらに、データベースは仮メールアドレスが発行され次第、データ記憶部の適宜な領域をその仮アドレスに相当するメールボックスとして割り当てる。ここでは、仮アドレスA2および仮アドレスB2に対応してメールボックスA2とメールボックスB2がそれぞれ割り当てられていることとする。

【0028】<（B）匿名文通ペア>適宜に選出された2人の会員の仮メールアドレスを対応付けしたデータであり、ある会員の仮メールアドレスについては1人の会員の1つの仮メールアドレスにのみ1対1に対応付けされている。この図では、仮メールアドレスA2と仮メールアドレスB2など、2つの仮メールアドレスを一組として匿名文通ペアが形成されている。そして、各匿名文通ペアには有効期限データが付帯している。

【0029】有効期限データは、匿名文通ペアが生成されて消滅するまでの時間やアドレス対の各メールボックスが受け付ける電子メールの回数制限など、匿名文通ペアの対応関係を解消する期日を特定するためのデータである。この例では、仮アドレス対が生成された時点から起算とした一定期間後の日時を有効期限データとしている。

【0030】 === メール仲介処理 ===
図3は、会員Aが会員Bに匿名で電子メールを送付したときの電子メールの流通経路と、その流通過程において電子メールに付帯する差出人と受取人のメールアドレスの変更状態を概略的に示している。以下、この図に従ってメール仲介サービスに関わるデータ処理について説明する。

【0031】（s1）端末A10aにて会員Bに宛てた

電子メール40を作成する。この電子メールの差出人アドレスはA1であり、受取人アドレスは仮アドレスB2である。

(s2) SMTPサーバーとしてメールサーバーA20aを指定して電子メール40をインターネットに送出する。

(s3) 電子メール40が仲介サーバー20cの仮アドレスB2に相当するメールボックスに送達する。

(s4) メール仲介サーバーが電子メール40のヘッダ情報からアドレスA1と仮アドレスB2とを取得し、これらアドレスをデータベースに照会する。

(s5) 仮アドレスB2に対応付けされているアドレスB1、アドレスB2と匿名文通ペアをなす仮メールアドレスA2と、仮メールアドレスA2に対応付けされているメールアドレスA1とを取得する。

(s6) 取得したメールアドレスA1が差出人アドレスに一致していることを認知して、電子メール40の差出人アドレスを受取人アドレスA2、受取人アドレスをB1とした電子メール41を作成する。

(s7) 電子メール41をインターネットに送出。メールサーバーB20bのメールアドレスB1に相当するメールボックスに電子メール41が送達する。

(s8) 端末B10bがPOP手順に従って、メールサーバーB20bにアクセスする。

(s9) メールボックスB1にある電子メール41が端末B10bにて受信される。

【0032】なお、会員Bから会員Aに匿名で電子メールを送付する場合も上記s1～s8のステップと同様に、差出人アドレスB1、受取人アドレスA2の電子メールがメール仲介サーバーのメールボックスA2に送達し、メールヘッダ情報のデータベースへの照会を経て、差出人アドレスB2、受取人アドレスA1の電子メールが利用者コンピュータAにて受信されることになる。

【0033】(s10) 会員A、B以外の第3者が仮メールアドレスB2を知るなどして、端末A10a以外の利用者コンピュータからアドレスB2に宛てて電子メールを送付する場合もあり得る。この場合、メールボックスB2に送達した電子メールの差出人アドレスはこのメールボックスB2の仮メールアドレスに対応付けされていないことになる。このような場合、本実施例では電子メールを破棄することとしている。

【0034】===匿名文通ペアの消去===

仮メールアドレスについては有効期限データが付帯していることは上述した。メール仲介サーバーは、当然、現在の日時を把握しており、匿名文通ペアごとに付帯する有効期限の日時とこの現在日時と随時比較している。そして、有効期限が経過した匿名文通ペアについては、該当のメールボックスを記憶領域から削除し、匿名文通ペアを消滅させる。なお、匿名文通ペアの生成日時を有効期

限データとし、この生成日時からあらかじめ設定されている一定の期間が経過した時点で匿名文通ペアを消滅させることとしてもよい。

【0035】また、電子メールの送付回数を制限することとしてもよい。例えば、メールボックスに電子メールが送達した機会ごとに送達回数をカウントし、そのカウント数があらかじめ制限回数として設定されている所定数に達したら匿名文通ペアを消滅させる。もちろん、制限回数と有効期日とを併用させて、どちらか一方が制限を越えたら匿名文通ペアを消滅させることもできる。

【0036】===具体例===

上述したように、メール仲介サーバーは、匿名文通ペアと会員データとに基づいて、メールが誤送されることなく確実に匿名状態を維持したままで、メール仲介サービスを提供している。そして、その前提として、特定の2者間が匿名状態で電子メールの交換をする通信相手同士としてあらかじめ選出されている必要がある。以下に、特定の2者を選出するための具体的な実施形態を電子掲示板を例に挙げて説明する。

【0037】＜電子掲示板＞メール仲介サーバーにWWWサーバー機能を搭載し、そのWWWサーバーが提供するWebページの一つとして会員制の電子掲示板を用意しておく。メール仲介サーバーはアクセスしてきた利用者コンピュータから会員IDやパスワードを受け取ると、利用者コンピュータのブラウザが指定するURLに従って電子掲示板のWebページを送付する。

【0038】この電子掲示板には匿名での電子メール交換を希望する会員（候補者）が一覧表示され、その候補者ごとにニックネームや年齢や性別、居住都道府県など公開しても差し障りのないような個人情報が付記されている。また、この掲示板の画面には、各候補者ごとに通信相手として指名する旨の入力ボタンなどを配設しておく。なお、電子掲示板に年齢や性別などの検索条件の入力欄を用意して、入力された条件に一致した候補者のみを掲示板に一覧表示することとしてもよい。

【0039】そして、利用者コンピュータにてその入力ボタンを指示するなど、ある候補者を通信相手として指名する旨の入力操作がなされると、メール仲介サーバーはこの入力情報を受け取って、2つの仮メールアドレスを生成して匿名文通ペアとし、その対の一方の仮メールアドレスを指名された候補者の会員IDに対応付けし、他方を指名した会員IDに対応付けする。それによって、特定の2者を選出されるのである。

【0040】なお、発行された仮メールアドレスについては、指名者や候補者の会員IDによって特定されるメールアドレスに宛てた電子メールによって通知すればよい。さらに、指名者には候補者を指名した時点で仮メールアドレスが記載されたWebページを生成し、そのページを利用者コンピュータに送付することも通知できる。

【0041】===その他の実施例===

上記実施例において、メール仲介サーバーは仮メールアドレスが発行され次第、適宜な記憶領域をメールボックスとして確保することとしているが、メールボックスとして割り当てられる記憶領域は、このメール仲介サーバに送達した電子メールを一時的に確保するための記憶領域であってもよい。すなわち、仮メールアドレスごとに記憶資源を所定の記憶領域ごとに区分しなくてもよく、有効期限が過ぎた匿名文通ペアについては、その仮メールアドレスに基づいて電子メールが匿名文通ペアの2者のメールアドレスに送付しないように無効化すればよいのである。

【0042】さらに上記実施例では、一人の会員に複数の仮メールアドレスが対応付けされているが、会員一人に対して同時に割り当てられる仮メールアドレスの数の制限があってもよい。また、匿名文通ペアごとに有効期限データが付帯していれば、ある会員のある仮メールアドレスに対して複数の仮メールアドレスが対応付けされることとしてもよい。

【0043】また、利用者コンピュータからの有効期限の設定入力を受け付けたり、有効期限内であっても通信相手の一方が有効期限の延長・短縮・強制的な匿名文通ペアの解消など、有効期限を変更する旨の入力を受け付けたりすることとしてもよい。上述の電子掲示板を例に挙げれば、掲示板に候補者として投稿する際や候補者を指名する際に有効期限を設定することは可能であるし、また、アクセスしてきた利用者コンピュータがある匿名文通ペアの一方の会員の利用者コンピュータであることを所定の認証手続きを通じて認知した場合、その匿名文通ペアを解消するための入力を受け付けるWebページを送付することも容易であろう。

【0044】===補足===

ネットワークを介して電子メールを送受信できる情報機器には、電子メールの送受信機能に特化した携帯端末や、携帯電話機など多種多様な形態がある。上記実施例における利用者コンピュータとは、パーソナルコンピュータに限らず、電子メールの送受信機能を備えた情報機器全般を指すこととしている。また、携帯電話機などでは、その電話機と同じ通信事業者に加入している電話機同士でのみ送受信できる電子メールもある。したがって、ネットワークについても、インターネットに限定されるものではない。

【0045】さらに、メール仲介サービスを利用するための利用者コンピュータは専用端末であってもよい。この専用端末としては、例えば、遊技娯楽施設や街角でよく見かけるシールプリント装置（CCDカメラで撮影した顔写真と適宜な装飾図案を合成して剥離式の粘着シール用紙にプリントアウトする装置）などが考えられる。最近では、この装置をインターネットに接続し、撮影した写真の画像データを所定のサーバーに保管したり、他

の場所にある同じ装置でその画像を印刷できるようにしたりするサービスも展開されつつある。また、利用者が撮影した画像をその利用者の操作によって他の利用者也閲覧できるようにしている。すなわち、このシールプリント装置を写真付きの掲示板として利用しているのである。もちろん、その画像付きの記事に対して返答の記事も投稿できるのである。

【0046】そこで、このシールプリント装置のような専用の端末装置でのみ、会員登録を受け付けたり、上記具体例のような匿名文通ペアの候補者一覧の電子掲示板を閲覧可能にしたりして、メール仲介サービスが利用できるようにすることも考えられる。

【0047】

【発明の効果】本発明によれば、特定の2者間が匿名状態で電子メールを交換する場合に、その2者間にのみ有効な仮メールアドレスが発行される。そのため、本来のメールアドレスが他人に流出することがなく情報交換をすることができる。

【0048】しかも、仮メールアドレスには有効期限を設定することとしている。そのため、その有効期限内に互いに深い好意や興味を示した段階でその匿名状態を解消し、友好関係を深化させる可能性を提供できる。その一方で、通信相手の双方あるいはどちらか一方が情報交換を解消したい場合にも、情報交換を停止する旨の通知を相手に行うことなく、情報交換の経路が自動的に消滅する。もちろん、一方から執拗に電子メールが送付される心配もない。

【0049】そして、メール仲介サーバ内に仮メールアドレスに相当するメールボックスを設定するとともに、このサーバーが電子メールの差出人のメールアドレスを仮メールアドレスに変更し、受取人の仮メールアドレスを本来のメールアドレスに変換しているため、利用者コンピュータの電子メール送受信ソフトウェアに新規のSMTPサーバーやPOPサーバーを設定する必要がない。

【0050】また、利用者のある仮メールアドレスに対応付けされる仮メールアドレスを1つとしたり複数としたりすることは容易であり、特定の2者間でのみの電子メール交換やグループ内でのみの電子メール交換など、適宜な情報交換の形態を採用することができる。

【0051】また、利用者ごとに割り当てられる仮メールアドレスの数を制限することで、メールボックスに要する記憶容量を節約できる。もちろん、利用者が無制限に匿名文通ペアの相手ができることを防止したい場合は、利用者コンピュータからの要求によって制限することもできる。

【0052】さらに、利用者側で有効期限をあらかじめ設定することもでき、個々の利用者の希望に柔軟に対応することができる。また、匿名文通ペアを期限経過前に解消するなど有効期限の変更も可能であり、匿名文通ベ

アを解消したいと思ったときなどは有効期限が経過するまで不快な思いをしなくても済む。もちろん、匿名状態での電子メール交換を通じて、初期設定されている有効期限経過後もその匿名状態で電子メール交換を続けたい場合にも対応できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例における電子メール仲介サーバを含むインターネットの概略構成図である。

【図2】上記実施例におけるデータベースに格納されて*

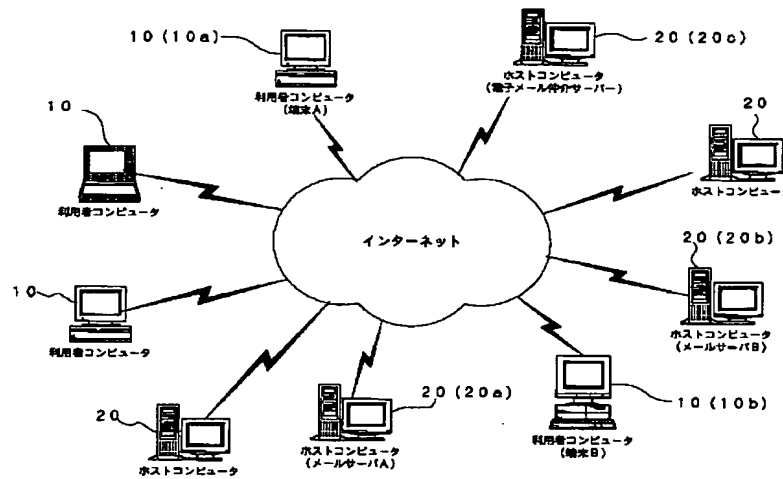
*いるデータ構成の概略図である。(A)は会員データの概略構造であり、(B)は匿名文通ペアの概略構造である。

【図3】上記実施例におけるメール仲介動作を電子メールの流通経路の概略図として示している。

【符号の説明】

10、10a、10b 利用者コンピュータ
20a、20b メールサーバ
20c 電子メール仲介サーバ

【図1】



【図2】

(A)

会員	ID	個人データ				仮メールアドレス
		メールアドレス	年齢	性別	地域	
A	0001	A1	16	女	千葉	A2, A3, A4
B	00122	B1	22	男	東京	B2, B3
C	03420	C1	31	女	東京	
D	12583	D1	14	男	沖縄	D2, D3
...

(B)

匿名大連ペア (仮メールアドレス)	有効期限データ
A2, B2	2000.04.22.18:46
A3, D3	2000.05.02.01:12
A4, E3	2000.05.10.13:08
B3, D2	2000.04.29.12:05
...	...

【図3】

